

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100108
事業所名	グループホーム ひびきの家安城

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、地域の防災訓練やあじさい祭り、納涼祭、コスモス祭りなどに参加している。小学校の学芸会へ参加したり、近隣の介護施設と一緒に体操やボランティアの演奏を楽しむなど交流を深めている。事業所内の研修室を地域の行事や集会に活用できるようにして交流を深める努力をしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者代表や家族代表、町内会長や民生委員、包括支援センター職員及び市の職員が出席し、2ヶ月ごとに開催している。事業所の状況の報告や地域、市の情報など活発な意見交換がされている。意見や要望を積極的に取り入れ、サービス向上を図っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当者とは運営推進会議や日常の手続き業務の際に意見交換を図り、良好な協力関係が築かれている。市による年2回の全体指導会や研修会には積極的に参加している。福祉祭りには、入居者の作品を展示したり、グループホーム部会の会場の提供なども行っている。また、介護相談員の訪問も毎月受け入れ連携を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者の意見や要望は、日常の会話や表情から把握し、業務日誌や送りノートへ記入して共有を図っている。家族からの意見や要望は、来所した折や運営推進会議で聞き、記録して話し合いをして運営に反映するようにしている。海外勤務の家族や遠方の家族の方とはメールや電話、文書送付などで情報交換をし、介護計画や運営に反映するようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	○	○			